



しのさっ子



しのさっ子の主体性を育む

～ コミュニティ・スクールは、「おかげさま」の宝庫 ～

朝夕に爽やかな風が吹き始め、少しずつ秋を感じられるようになってきました。

本校では、コミュニティ・スクールとしての取組が始まり、3年目を迎えました。本年度開催された学校運営協議会では、授業参観の形で、本校が目指す子供たちの「主体的に学びに向かう姿」を見ていただきました。委員の皆さんからは、「いきいきと学べそうな雰囲気がある。」「先生がユーモアを持って対応していて、主体性が育ちやすい。」等の声がありました。この協議会が、主体性を育む環境を支え、見守ってくださっていることを感じました。

学校支援ボランティア「しのさっ子応援団」の活動も、

より充実してきました。1学期には、下校指導では1年生が、町探検では2年生がお世話になり、今後は、3年生の総合的な学習の時間「篠原じまん」の支援を、5年生の家庭科でミシンを使う活動の見届けをお願いする予定です。また、校内の花壇の手入れもしていただいています。暑い中で作業していただいたおかげで、この夏、カラフルな花々に囲まれました。このように、学習面ではいきいきと、環境面では安心安全でのびのびと活動できる雰囲気づくりを、ボランティアさんに助けていただいています。

ところで、主体的な姿は子供や教師だけではありません。私は、花壇整備をするボランティアさんの楽しそうな笑い声からも心が潤い、沢山の元気をいただいています。最近、その花壇に自主的に水をあげる子供の姿も目にして心が温かくなりました。このように、豊かな学校で過ごし、しのさっ子たちの頑張る姿や笑顔を日々多く見ることができていることを幸せに感じています。

本校のグラウンドデザインに挙げる【自立】と【共生】は、子供の主体性を育むキーワードです。授業やクラブ活動等では、地域人材の講師を招いて専門性を生かした指導を取り入れています（自立）。また、相手の良さを認め、共に高め合うために、地域の方と関わる時間も大切にしています（共生）。どちらも子供の生きる力を育み、ものの見方や考えを広げるための良い方法で



す。今後も、「おかげさま」の宝庫・篠原の良さを生かし、地域の皆さんとともに、主体性のあふれた子供たちの笑顔いっぱい学校をつくっていかたらうれしく思います。